

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・今のところ、予約の状況は今月、来月、再来月と順調に推移している。前年をかなり上回る予約状況でかなり良く、天変地異が無い限りは大丈夫ではないかとみている。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・観光客の増加に伴い来客数が増加し売上が伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も暑さが続き、観光客も増加傾向のため、来客数は増える。反面、店舗側は人手不足による品出し不足でチャンスロスも見られるが、しばらくは客数増による恩恵がある。
		衣料品専門店（経営者）	・この暑さが続けば当方のような商売には良い。
		観光型ホテル（マーケティング担当） 住宅販売会社（代表取締役）	・夏場の予約状況は好調で、今後2～3か月先の稼働率は前年同月実績を大きく上回る見込みである。 ・当社では完成工事高、利益率とも好決算を迎えられそうである。また、既に来月以降の繰り越し工事の建築請負契約額が年度予算分を超えており受注は順調である。ただし、現場代理人や現場作業員の出人不足が懸念される。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・円高、熊本地震などにより沖縄への来客数が減少する可能性がある。
		スーパー（販売企画担当）	・パイヤー等からの情報に、健康志向による高単価品の伸びが一部で出ていることや原材料の高騰している商品の値上がりなどがあり、単価アップは続くと思われる。
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず、景気の良くない状態が続いている。街には人はいるが、観光客がほとんどのようで、地元客の回遊が少ない状態が続いている。地元客が買物しないと、当方の商売は難しい。景気の回復は先なようで、まだまだ様子見である。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・外国人観光客が更に増えてきている印象があるが、全体の販売量は特に変わらない。
		通信会社（店長）	・キャッシュバックなどの施策も無くなったことから、客は分割が終わる2年は端末を持ち続けることが予測できるため、販売数、来客数とも変わらぬ状況が続くのではないかとみられる。
やや悪くなる	百貨店（店舗企画）	・衣料品の動向は今後も厳しいとみられる。これまでけん引してきたインバウンド効果も徐々に薄れてきていることから、やや悪くなると予測している。	
	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・外国人観光客は増えている。しかし、日本の観光客はリピーターが多い。どちらも購買力は減少している。	
	旅行代理店（マネージャー）	・特に話題性のあるものは無く、急激に販売が伸びる要素が無い。	
	住宅販売会社（営業担当）	・消費税増税の再延期の影響により、住宅計画に時間をかけたという声が聞こえた。	
悪くなる	商店街（代表者）	・当商店街では、特に婦人衣料関係が大変苦戦しているみたいで、2～3日も売れない店もあると聞く。飲食店が少し増えているようであるが、これもあくまで飲み食いだけの話で、小売全体の売上から見ると、底上げはできていない。国全体から見たら、底上げされているということであるが、末端の零細小売企業は毎月売上が大変落ちていて、相当危機感を持っている。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・労働集約型の飲食業ではよほどのヒットが無い限り、営業効率が非常に悪くなっている。大型店舗が減って、2～3名で回せる専門店が増えてきている。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・申込及び仮契約の客が増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業（総務）	・為替や株価の乱高下や昨今の経済ニュース等による先行きが見えない不安感により消費者心理も慎重になっているのではないかと。特売等の価格が安い時を選んで購入する傾向がある。業界もソーセージ、ハム、ベーコン等冷食類の競争が激まっている感じもする。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特に変動は無く、横ばいの見込みである。
		輸送業（営業）	・大型量販店の出店や木造住宅関連物量が増える見込みで明るい兆しはあるが、逆に運行に必要な燃料費が徐々に上がってきている。海上輸送、陸送の経費圧迫が予測される。
広告代理店（営業担当）	・英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響などを注視する傾向が強まるなかで、好調な沖縄観光をけん引するインバウンド市場に対する不安感が増しているように感じられる。それに伴い、県内企業の販促投資も緩やかに推移するものと感じている。		

	やや悪くなる	輸送業（代表者）	・観光客でにぎわっている先島地区だが、リゾート関連の民間工事が本格化するのには時間が掛かる。宮古、石垣の公共工事も大きな変化は無く、与那国の陸上自衛隊工事も峠を過ぎている。
		会計事務所（所長）	・観光産業に、英国のEU離脱問題の悪影響が生じるとみている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
(沖縄)	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼数は徐々に増加してきているが、大きく伸びるという状況ではない。
		人材派遣会社（総務担当）	・県内経済は観光、建設関連業界を中心に好調であるが、どの業界からも人手不足が深刻で打開策を模索しているとの声が多く聞こえている。当社も少ない人材をいかにマッチングしていくかが最大課題である。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・7～8月は、件数は横ばいになるとみられる。
		学校[大学]（就職担当）	・学生の就職支援をするなかで、景気を象徴するような動きは特に感じない。しばらくは現状が続く予想の方が強い。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年7～9月は求人数が減少する。
		学校[専門学校]（就職担当）	・英国のEU離脱問題が思った以上に早く影響を及ぼし、波紋を広げそうな感がある。
	悪くなる	-	-